



8 月豪雨災害を受け おーばんホールディングスより寄附をいただく

8月の記録的大雨で被災した自治体の支援にと、白鷹町を含む5市町に、株式会社おーばんホールディングス（二藤部洋代表取締役）様より災害義援金を頂戴しました。義援金には県内のスーパー「おーばん」、「うめや」全20店舗で実施された店頭募金もあり、皆さまからの支援も寄せられています。

8月15日には近藤喜久雄営業企画部長とおーばん白鷹店の佐藤健一郎店長が白鷹町役場を訪れ、佐藤町長に寄附金が手渡されました。

いただいた寄付金については、今後災害復旧に活用されます。この度は誠にありがとうございました。



佐藤店長（左）より寄附金が手渡されました。



た わわに実った稲穂を収穫 東根小学校で稲刈り体験

春に田植えをしてはや4ヶ月。たわわに実った稲穂の稲刈り作業が行われました。この体験学習は東根小学校の5年生を対象に、食の大切さと、作る喜びを子どもたちに感じてもらうと地域の方の協力をいただきながら取り組んでいる活動です。実際の作業では、地域の方からコツを教わりながら、手際よく作業を進めました。

また、稲杭に刈ったばかりの稲をかけて自然乾燥させる杭かけ作業も行いました。短時間で多くの稲を刈り取り、参加した児童からは、「大変だったけど楽しかった」「早くお米が食べたい」などの声が聞かれました。

今後は稲の乾燥が終わると、脱穀作業を経て、縄ない作業まで行われる予定です。



手刈りで稲を刈り、稲を束ね、杭にかけるまで、全てを手作業で行いました。



商 工会建工部会による家屋修繕ボランティア 町内で実施！活動ありがとうございました

10月2日、白鷹町商工会建工部会（後藤敬一郎部長）による、家屋修繕ボランティアが町内5カ所で行われました。対象は民生委員のかたがたにより、地域の見回りを行い決定され、当日は建工部会の会員11名が傷んだ家屋の補修、修繕等を実施しました。

引き戸の修繕や網戸やガラス戸の修理など、補修箇所はさまざまでしたが、さすがの職人技であつという間に補修が完了。新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの実施となりましたが、職人のかたがたの温かな気持ちが、丁寧な作業に現れていました。本当にありがとうございました。



玄関引き戸の修理、丁寧に作業を進めていただきました。

美味しさいろいろ、楽しさいろいろ 白鷹鮎まつりが3年ぶり開催

しらたか秋の恒例イベント「白鷹鮎まつり」が白鷹ヤナ公園を会場に開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となり、来場者の密集を避けるために9月17日（土）～25日（日）のロングランでの実施、感染症対策を徹底したかたちでの開催となりました。

また土日祝日には、「しらたかうんまいもの市」が同時開催され、町内外の飲食店が出店し白鷹産のホップビールや米沢牛入りいも煮の提供、深山焼の制作を体験できるコーナーもあり、賑わいをみせた週末となりました。休日6日間の来場者数は3万827人、ロングラン期間中には約3万匹のアユが提供されました。



1_ 香ばしく焼きあがったアユの塩焼き 2_ 日本最大級のヤナ場を見学 3_ 焼きあがったアユを美味しくうにほお張る 4_ 陶芸に挑戦中の男子の子

爽やかに駆け抜ける 白鷹若鮎マラソンが3年ぶり開催

第57回白鷹若鮎マラソンが令和元年以来、3年ぶりに開催されました。

当日は天候が心配されましたが何とか持ちこたえ、ハーフマラソン、10、5、3、2キロの各コースを舞台に、ランナーたちが爽やかに駆け抜けました。

開催を待ち望んでいたランナーもおり、「若鮎マラソン最高!」「やっぱり気持ちいいね!」とゴール直後に満面の笑みで語ってくれました。

秋を感じ思い思いの走りで楽しみながら、528人が力走り盛り上がりを見せた第57回若鮎マラソン大会でした。選手、関係者の皆さま大変お疲れ様でした。



1_ 勢い良くスタートする小学生 2_ 大会を大いに盛り上げたパトランの皆さん 3_ 今大会最多出場のハーフマラソンスタート 4_ 最後まで力走する小学生